

舞鶴東地区

(京都府舞鶴市)

- 計画期間 平成18年～平成22年
- 面積 184 ha
- 交付対象事業費 484 百万円
- 市人口 92,421 人 (地区内人口 7,099 人)

ポイント

市民と行政が協働することを基本として、「赤煉瓦と港を活かしたまちづくり」をキーワードに、ハード・ソフトが一体となった各事業の展開を行っています。

地区概要

「赤煉瓦」等の文化を活用して、まちの魅力を高めるとともに、居住環境の整備、都市の空間の整備を図り、中心市街地の活性化を目指しています。

目標

港町ルネッサンス～港文化（海・赤煉瓦等）とにぎわいの共演～

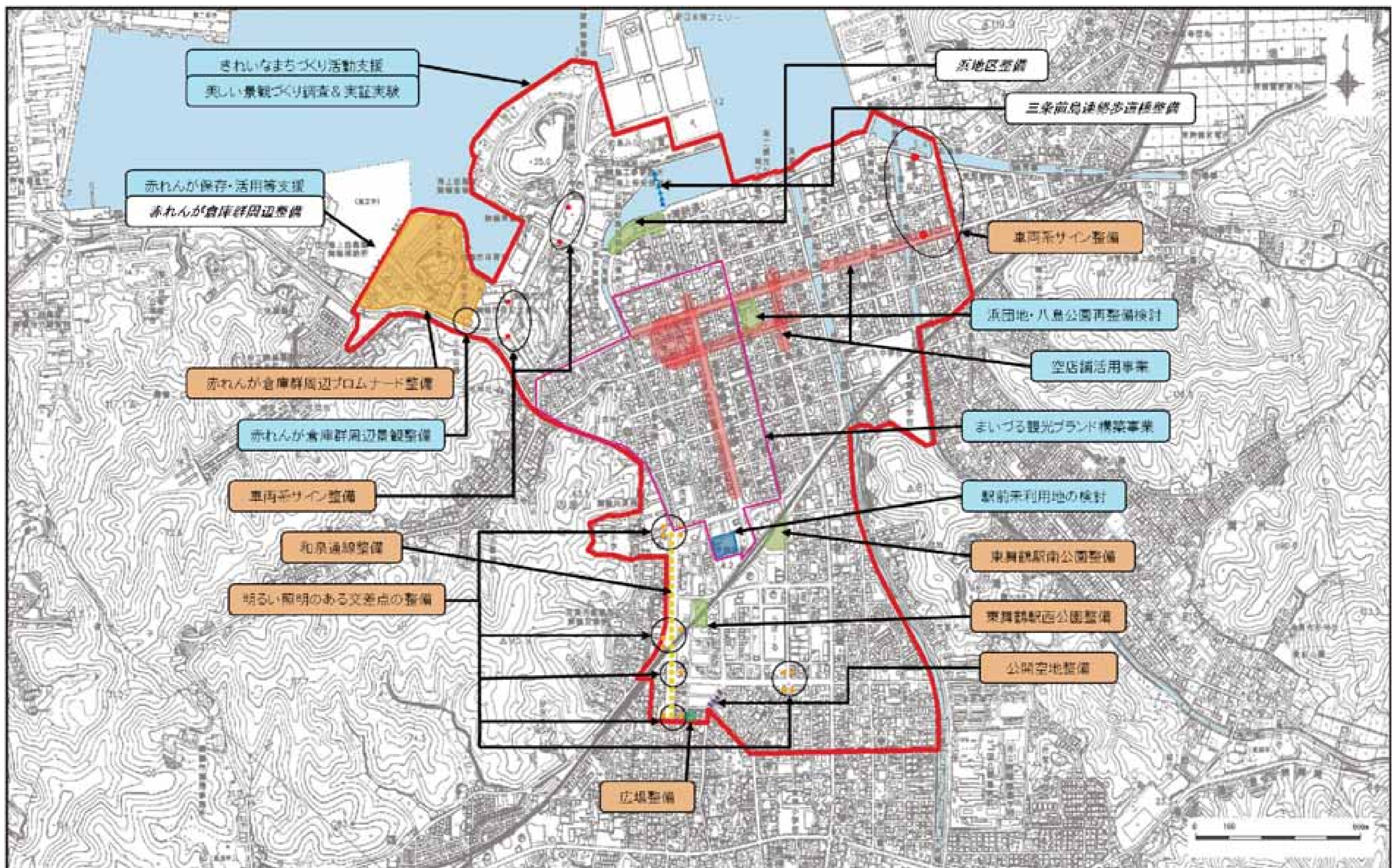
指標

地区内に、プロムナードや赤煉瓦倉庫群の景観整備を行うことで、まちに活気やにぎわいが生まれたと感じる人の割合や、赤煉瓦を活かしたまちづくり・景観づくりに対する市民の満足度を測ることを指標としています。

項目	現況値 (年)	⇒	見込み値 (年)
活気あるにぎやかなまちと感じる人の割合			5.5% (H16) ⇒ 10% (H22)
赤煉瓦倉庫群一帯では景観に配慮していると感じる人の割合			29% (H17) ⇒ 50% (H22)
通りの歩行者数	1,027 人/日 (H16)	⇒	1,200 人/日 (H22)
中心市街地の往来者数	6,140 人/日 (H17)	⇒	7,000 人/日 (H22)

事業内容

基幹事業 (354 百万円) → 公園 (2 カ所)、情報板 (8 カ所)、広場 (58 m²)、公開空地 (310 m²) 他
 提案事業 (130 百万円) → 赤煉瓦倉庫群周辺景観整備事業、赤煉瓦倉庫保存・活用等支援事業
 まいづる観光ブランド構築事業 他



地区の現況と課題

明治34年旧海軍舞鶴鎮守府開庁に伴い、新たにグリッド状に区画された市街地の形成がなされ、海軍の町として発展してきた。

戦後は「引揚港」に代表される平和の港湾都市として生まれ変わり、赤煉瓦倉庫群をはじめとした旧軍港の建造物を近代化遺産として継承している。近年、高齢化、既存商店街の空洞化、後継者不足による商業形態の変革など、まちの機能低下が課題になっている。

提案事業の特徴

○赤煉瓦倉庫群周辺景観整備：倉庫群の景観を阻害している旧商工会議所建物を取り壊す。

○赤煉瓦倉庫の保存・活用等支援：赤煉瓦を「舞鶴の顔」として活用し、PRイベントや保存していく活動を市民と協働で推進する。

○観光ブランド構築：港地域と連携した「まち歩きゾーン」を構築するため、基本構想や整備計画を市民・商業者と協働で策定。

○美しい景観づくり調査&実証実験：景観づくりのための基本方針の策定に向けた調査と景観への意識向上をめざした実証実験。

○浜団地・八島公園再整備検討：TMOと連携し必要性、位置づけ、再整備内容を共同で計画

○空き店舗活用：空き店舗への新規出店者への家賃補助等

計画策定プロセス

○赤煉瓦倉庫群の転活用：「赤れんが博物館」などのハード整備を進める一方、NPOによるジャズコンサートなど市民と協働で実施。

○TMOを中心にしたまちづくり：H13に中心市街地活性化基本計画を策定、H15には商工会議所をTMOに認定し、市民・商業者・行政が一体となって総合的なまちづくりを進めている。

○市民参加の計画づくり：まちづくり交付金の策定にむけて、ワークショップを開催。多くの市民の意見を取り入れた。

齋藤彰市長のコメント

舞鶴市には近代化遺産である赤煉瓦建造物が多くあります。特に北吸地区の赤煉瓦倉庫群は、建物はもとよりその景観が大変貴重であり、この度、倉庫群が一体的に国の重要文化財に指定されました。

市民共有の資産である赤煉瓦を活用したまちづくりを有効に展開するために、散策路の整備や景観保全など、周辺環境の整備を進め、この地域を「(仮称)赤れんがパーク」として、今後取り組みを進めていきます。城下町として発展してきた舞鶴西地区とともに「一都二彩」をキーワードにまちづくり交付金を活用しており、多くの方々のご来鶴を心よりお待ちしております。

NPO 法人赤煉瓦倶楽部のコメント

市民の共有資産である赤煉瓦を活用したまちづくりをより有効に展開するために、私たち「NPO 法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」は、転活用した赤煉瓦倉庫を指定管理者として運営しています。まちの誇れる近代化遺産を世界に情報発信するために、各種イベントなど民間というメリットを積極的に活かした活動を実施しています。「(仮称)赤れんがパーク」の取り組みにも積極的に協力させていただき、行政と協働のまちづくりを行います。(理事長 馬場英男)



▲倉庫群の景観の妨げとなっていた建物を除去



▲除去後のイベントの様子



▲ワークショップの様子



▲たくさんの方でにぎわう赤れんがフェスタ



▲赤煉瓦サマージャズの様子